5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表

<日本赤十字北海道看護大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	河口 てる子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅲ(尺度開発) 科学的研究方法論Ⅵ(理論構築) 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	中野 実代子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅲ(尺度開発) 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール
専任	教授	石崎 智子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅳ(質的研究) 臨床倫理論 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	伊藤 善也 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅱ(臨床介入研究)
専任	准教授	山本 憲志 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅰ(実験研究) 健康科学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール
専任	教授	根本 昌宏 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅰ(実験研究)
専任	講師	村林 宏 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅰ(実験研究)

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	河口 てる子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅲ(尺度開発) 科学的研究方法論Ⅵ(理論構築) 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	中野 実代子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅲ(尺度開発) 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール
専任	教授	石崎 智子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅳ(質的研究) 臨床倫理論 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	伊藤 善也 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅱ(臨床介入研究)
専任	准教授	山本 憲志 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅰ(実験研究) 健康科学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール
専任	教授	根本 昌宏 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅰ(実験研究)
専任	講師	村林 宏 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅰ(実験研究)

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	河口 てる子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅲ(尺度開発) 科学的研究方法論Ⅵ(理論構築) 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	中野 実代子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅲ(尺度開発) 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール
専任	教授	石崎 智子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅳ(質的研究) 臨床倫理論 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	伊藤 善也 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅱ(臨床介入研究)
専任	准教授	
専任	教授	根本 昌宏 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅰ(実験研究)
専任	講師	村林 宏 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅰ(実験研究)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	河口 てる子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅲ(尺度開発) 科学的研究方法論Ⅵ(理論構築) 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	中野 実代子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅲ(尺度開発) 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール
専任	教授	石崎 智子 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅳ(質的研究) 臨床倫理論 療養生活看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	伊藤 善也 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅱ(臨床介入研究)
専任	准教授	
専任	教授	根本 昌宏 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅰ(実験研究)
専任	講師	村林 宏 <平成28年4月>
		科学的研究方法論Ⅰ(実験研究)

兼任	教授	島井 哲志 <平成28年 4 月> 健康科学特論

		西片 久美子 <平成28年 4 月>
専任	教授	科学的研究方法論Ⅱ (臨床介入研究) 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	島井 哲志 <平成28年 4 月> 健康科学特論

		西片 久美子 <平成28年 4 月>
専任	教授	科学的研究方法論Ⅱ (臨床介入研究) 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	島井 哲志 <平成28年 4 月> 健康科学特論
兼任	教授	佐藤 満 <平成29年 4 月> 科学的研究方法論Ⅰ (実験研究) 健康科学特論

		西片 久美子 <平成28年 4 月>
専任	教授	科学的研究方法論Ⅱ (臨床介入研究) 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	島井 哲志 <平成28年 4 月> 健康科学特論
兼任	教授	佐藤 満 <平成29年 4 月> 科学的研究方法論Ⅰ (実験研究) 健康科学特論

<日本赤十字秋田看護大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	安藤 広子 <平成28年4月>
		生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専	教授	鈴木 聖子 <平成28年4月>
		広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専	教授	藤井 博英 <平成28年4月>
		看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	東浦 洋 <平成28年4月>
		赤十字人道援助論

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	安藤 広子 <平成28年4月>
		生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専	教授	鈴木 聖子 <平成28年4月>
		広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専	教授	藤井 博英 <平成28年4月>
		看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	東浦 洋 <平成28年4月>
		赤十字人道援助論

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	安藤 広子 <平成28年4月>
		生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専	教授	鈴木 聖子 <平成28年4月>
		広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専	教授	山田 典子 <平成29年4月>
		看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	東浦 洋 <平成28年4月>
		赤十字人道援助論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	安藤 広子 <平成28年4月>
		生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専	教授	鈴木 聖子 <平成28年4月>
		広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専	教授	山田 典子 <平成29年4月>
		看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	東浦 洋 <平成28年4月>
		赤十字人道援助論

<日本赤十字豊田看護大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専任	教授	大西 文子 <平成28年4月> 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	西片 久美子 <平成28年4月> 科学的研究方法論Ⅱ (臨床介入研究) 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	東野 督子 <平成28年4月> 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	山田 聡子 <平成28年4月> 看護人材開発特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	野口(多賀谷)眞弓 <平成28年4月> 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	筒井 真優美 <平成28年4月> 看護理論

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専任	教授	大西 文子 <平成28年4月> 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	東野 督子 <平成28年4月> 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	山田 聡子 <平成28年4月> 看護人材開発特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	野口(多賀谷)眞弓 <平成28年4月> 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	筒井 真優美 <平成28年4月> 看護理論

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専任	教授	大西 文子 <平成28年4月> 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	東野 督子 <平成28年4月> 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	山田 聡子 <平成28年4月> 看護人材開発特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	野口(多賀谷)眞弓 <平成28年4月> 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	筒井 真優美 <平成28年4月> 看護理論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専任	教授	大西 文子 <平成28年4月> 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	東野 督子 <平成28年4月> 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	山田 聡子 <平成28年4月> 看護人材開発特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	野口(多賀谷)眞弓 <平成28年4月> 生涯発達看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	筒井 真優美 <平成28年4月> 看護理論

<日本赤十字広島看護大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	小山 真理子 <平成28年4月>
		看護人材開発論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	植田 喜久子 <平成28年4月>
		実践看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	眞崎 直子 <平成28年4月>
		広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	中信 利恵子 <平成28年4月>
		災害救護特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	百田 武司 <平成28年4月>
		実践看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	小原 真理子 <平成28年4月>
		災害救護特論

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	小山 真理子 <平成28年4月>
		看護人材開発論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	植田 喜久子 <平成28年4月>
		実践看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	眞崎 直子 <平成28年4月>
		広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	中信 利恵子 <平成28年4月>
		災害救護特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	百田 武司 <平成28年4月>
		実践看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	小原 真理子 <平成28年4月>
		災害救護特論

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	小山 真理子 <平成28年4月>
		看護人材開発論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	植田 喜久子 <平成28年4月>
		実践看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	眞崎 直子 <平成28年4月>
		広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	中信 利恵子 <平成28年4月>
		災害救護特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	百田 武司 <平成28年4月>
		実践看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	小原 真理子 <平成28年4月>
		災害救護特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	小山 真理子 <平成28年4月>
		看護人材開発論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	植田 喜久子 <平成28年4月>
		実践看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	眞崎 直子 <平成28年4月>
		広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	中信 利恵子 <平成28年4月>
		災害救護特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	百田 武司 <平成28年4月>
		実践看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
兼任	教授	小原 真理子 <平成28年4月>
		災害救護特論

<日本赤十字九州看護大学>

【認可時又は届出時】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名									
専任	教授	岡村 純 <平成28年4月> 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究	専任	教授	岡村 純 <平成28年4月> 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究	専任	教授	守山 正樹 <平成29年4月> 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究	専任	教授	守山 正樹 <平成29年4月> 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究
専任	教授	小林 裕美 <平成28年4月> 科学的研究方法論Ⅳ (質的研究) 広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究									
専任	教授	鈴木 清史 <平成28年4月> 科学的研究方法論Ⅴ (文化人類学的研究)									
専任	教授	高橋 清美 <平成28年4月> 広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究									
専任	教授	姫野 稔子 <平成28年4月> 科学的研究方法論Ⅰ (実験研究) 広域連携看護学特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究									
専任	教授	本田 多美枝 <平成28年4月> 看護人材開発特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究									
専任	教授	柳井 圭子 <平成28年4月> 臨床倫理論 看護人材開発特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究									
専任	教授	山勢 善江 <平成28年4月> 災害救護特論 看護学演習 合同研究ゼミナール 特別研究									
専任	教授	乗越 千枝 <平成28年4月> 看護学演習 合同研究ゼミナール									

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<日本赤十字北海道看護大学>

【平成28年度】

・西片久美子教授日本赤十字豊田看護大学から日本赤十字北海道看護大学へ移動。申請時の科目は変更なく実施するため支障はない。

【平成29年度】

・山本憲志准教授「AC教員審査」保留により、健康科学特論は「兼任補充可」となる。
・山本憲志准教授「AC教員審査」保留により、「看護学演習」及び「合同研究ゼミナール」の准教授1名削除となる。複数の専任教員（平成29年度：教授24名）が共同で担当するため、専任教員の補充なし。

【平成30年度】

・特になし。

<日本赤十字秋田看護大学>

【平成28年度】

・特になし。

【平成29年度】

・藤井博英教授退職により、山田典子教授に変更。平成28年11月教員審査済。

【平成30年度】

・特になし。

<日本赤十字豊田看護大学>

【平成28年度】

・西片久美子教授日本赤十字豊田看護大学から日本赤十字北海道看護大学へ移動。

【平成29年度】

・特になし。

【平成30年度】

・特になし。

<日本赤十字広島看護大学>

【平成28年度】

・特になし。

【平成29年度】

特になし。

【平成30年度】

・特になし。

<日本赤十字九州国際看護大学>

【平成28年度】

・特になし。

【平成29年度】

・岡村純教授退職により、守山正樹教授を専任教員として新規採用する。平成28年11月教員審査済。

【平成30年度】

・特になし。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
	日本赤十字北海道看護大学	1 名	1 名
日本赤十字秋田看護大学	1 名	1 名	1 名
日本赤十字豊田看護大学	1 名	1 名	1 名
日本赤十字広島看護大学	1 名	1 名	1 名
日本赤十字九州国際看護大学	1 名	1 名	1 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

大学名	設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
日本赤十字北海道看護大学	5	1	1	0	7	6	0	1	0	7	6	0	1	0	7
	(6)	(1)	(1)	(0)	(8)						[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	2	0	5			3	0	4			3	0	4		
	(3)	(0)	(5)								[1]	[0]	[Δ1]		
日本赤十字秋田看護大学	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3
	(3)	(0)	(0)	(0)	(3)						[1]	[0]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	1	2	0			1	2	0			1	2	0		
	(1)	(2)	(0)								[0]	[0]	[0]		
日本赤十字豊田看護大学	5	0	0	0	5	4	0	0	0	4	4	0	0	0	4
	(4)	(0)	(0)	(0)	(4)						[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[Δ1]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	4	1	0			3	1	0			3	1	0		
	(3)	(1)	(0)								[Δ1]	[0]	[0]		
日本赤十字広島看護大学	5	0	0	0	5	5	0	0	0	5	5	0	0	0	5
	(5)	(0)	(0)	(0)	(5)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	3	2	0			3	2	0			3	2	0		
	(3)	(2)	(0)								[0]	[0]	[0]		
日本赤十字九州国際看護大学	9	0	0	0	9	9	0	0	0	9	9	0	0	0	9
	(9)	(0)	(0)	(0)	(9)						[9]	[0]	[0]	[0]	[9]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	4	3	2			5	2	2			5	2	2		
	(4)	(3)	(2)								[1]	[Δ1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める 定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上 記 (B)) の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時 (上記 (C)) の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
日本赤十字北海道看護大学	65 歳	0 名	0 名
日本赤十字秋田看護大学	65 歳	2 名	2 名
日本赤十字豊田看護大学	65 歳	0 名	0 名
日本赤十字広島看護大学	65 歳	1 名	1 名
日本赤十字九州国際看護大学	65 歳	1 名	1 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢 (特例等による定年年齢ではありません) , および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) - ⑤ 現在 (報告書提出時) の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{4}{4} = \boxed{100} \%$$

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)-① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

大学名	番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由			
日本赤十字北海道看護大学			該当なし							
日本赤十字秋田看護大学			該当なし							
日本赤十字豊田看護大学			該当なし							
日本赤十字広島看護大学			該当なし							
日本赤十字九州国際看護大学			該当なし							
合計(D)				後任補充状況の集計(E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
日本赤十字北海道看護大学							
日本赤十字秋田看護大学							
日本赤十字豊田看護大学							
日本赤十字広島看護大学							
日本赤十字九州国際看護大学							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人							科目
							科目
							科目
							科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
日本赤十字北海道看護大学			該当なし					
日本赤十字秋田看護大学								
日本赤十字豊田看護大学			該当なし					
日本赤十字広島看護大学			該当なし					
日本赤十字九州国際看護大学			該当なし					
合計								
辞任した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1 人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>日本赤十字北海道看護大学： 当該年度の科目担当教員がガイダンスやシラバス等で周知している。 履修途中の交代ではないため学生への影響はないと考えられる。</p>
<p>日本赤十字秋田看護大学： 当該年度の科目担当教員がガイダンスやシラバス等で周知している。 履修途中の交代ではないため学生への影響はないと考えられる。</p>
<p>日本赤十字豊田看護大学： 当該年度の科目担当教員がガイダンスやシラバス等で周知している。 履修途中の交代ではないため学生への影響はないと考えられる。</p>
<p>日本赤十字広島看護大学： 当該年度の科目担当教員がガイダンスやシラバス等で周知している。 履修途中の交代ではないため学生への影響はないと考えられる。</p>
<p>日本赤十字九州国際看護大学： 当該年度の科目担当教員がガイダンスやシラバス等で周知している。 履修途中の交代ではないため学生への影響はないと考えられる。</p>

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。